

取扱説明書

壁用同時給排気形換気扇

型式

TTF-08
TTF-12



壁用同時給排気形換気扇

(工事説明書・保証書別添付)



- このたびは壁用同時給排気形換気扇をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を、安全に正しく使っていただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 工事説明書を、販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

もくじ


安全上のご注意	2～3
各部のなまえ	4
運転のしかた	4
お手入れのしかた	5～6
故障かなと思ったら	7
仕様	7
長期使用製品安全表示制度について	7
アフターサービスと保証書	8

アフターサービスと保証書

■アフターサービスならびに不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

【補修性能部品の最低保有期間】

- 本機の補修性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

	☆長年ご使用の換気扇の点検を！	▶	使用 中 止	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
	ご使用の際このようなことはありませんか。			

TSK 換気扇保証書

型 式				製造番号			
保証期間	お買い上げ日		年	月	日	より1年間	
※お客様	お名前		様	TEL	—	—	
	ご住所						
※販売店	店名		TEL	—	—		
	住所						

※ 印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。
お買い上げいただき誠にありがとうございました。

- お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は本書の記載内容に基づき、お買い上げの販売店にご依頼の上、本書をご提示ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

[無償修理規定]

1. 施工・取扱説明書や本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合は、無償修理しますのでお買い上げの販売店にご依頼ください。
 2. 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。ご注意ください。
 - a) 使用上の誤りや不当な修理・改造により故障・損傷。
 - b) お買い上げ後の転倒・取付場所の移動・輸送・落下等により故障・損傷。
 - c) 一般家庭用以外または業務用として使用された場合の故障・損傷。
 - d) 火災・地震・風水害・ガス害・落雷・その他天災地変・公害・異常電圧その他外的要因による故障・損傷。
 - e) 施工・取扱説明書で禁止されている設置をされた場合。
 - f) 本書のご提示がない場合。
 - g) 本書に所定の記入がなされていない場合や字句を書き換えられた場合。
 3. 下記の場合、修理もしくは保証を致しかねますのでご了承ください。
 - a) 本機の誤使用や指定場所以外の使用による他の機器の故障・損傷あるいはそれにより発生した障害。
 - b) 本機を使用したことにより発生した変色・変形などの傷害。（ご使用のまえに、必ずご確認ください。）
 4. 本書は日本国内でのみ有効です。
This Warranty is valid only in Japan.
 5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

 **高須産業株式会社**

〒311-2404 茨城県潮来市水原3080

TEL 0299-67-5151

「故障かな？」・・・と思ったら

症 状	原 因	処 置 方 法
運転しない	①本体へ通電されていますか？	①-1 電源プラグを点検します -2 ブレーカーを点検します -3 停電ではありませんか？
いつもと違う音がする	①フィルターがしっかり取り付けられていますか？ ②フィルターが目づまりしていませんか？ ③シャッターが閉じていませんか？	①取り付け直します ②清掃します ③シャッターを開くか、運転を停止してください

仕 様

定格：単相AC100V，50/60Hz ※屋外フードFDP-100（別売品）を取り付けたときの値です。

品 番	部屋の広さ (畳)	運 転 モード	消費電力 (W)	風量(m ³ /h)		有効換気量 (m ³ /h)	騒 音 (dB)	質 量 (kg)
				給 気	排 気			
TTF-08	6	給気 排気 L L	4.2/5.0	16/18	15/17	15/17	16/17	2.8
	8	給気 排気 H H	5.6/5.7	21/24	19/22	19/21	21/23	
TTF-12	10	給気 排気 L L	5.6/6.9	26/28	23/25	24/25	25/27	
	12	給気 排気 H H	8.9/9.6	30/32	28/29	28/29	28/30	

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】〇〇〇〇年 【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは

※設計上の標準使用期間は、運転時間や温湿度など標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して製造した年から安全上支障なく使用することが出来る標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に定める無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件 JIS C 9921-2による

区 分	項 目	条 件
環境条件	電 圧	単相100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温 度	20℃ JIS C 9603から引用
	湿 度	65% JIS C 9603から引用
	設 置	製品の取付説明書による標準設置
負荷条件	負 荷	製品の取扱説明書による定格負荷
想定時間	1年間の使用時間	居 室 2,193時間/年
注) 常時換気(24時間連続換気)のものは、8760時間/年とする。		

■経年劣化とは

●長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本体の目的以外の用途や業務用に使われた場合、記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起き、重大事故に至るおそれが高くなります。この場合、製品に表示されている点検期間よりも早期に点検を依頼してください。点検期間については下記にお問い合わせください。

高須産業株式会社 長期使用製品相談窓口

《お問い合わせ先》 0299-67-5151

※お電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間 ●午前9:00～午後5:00(土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇を除く)

お手入れのしかた(つづき)

排気フィルターのお手入れ (3ヶ月に1回程度)

1. 電源を切る

- 1) 電源用ON-OFFスイッチを「OFF」にする。

2. 全面パネルのあけかた

- 1) 全面パネル下部に指をかけ上側に開く。
 - ・全面パネルは開いた状態で仮固定できます。
 - ・全面パネルは無理な力で上に押さないでください。(全面パネル、本体(上)が破損します。)

3. 排気フィルターのはずしかた

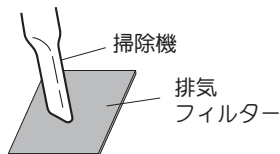
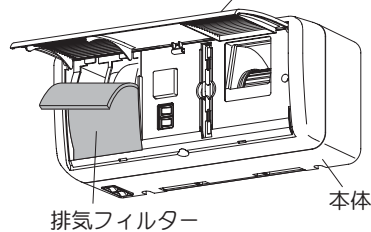
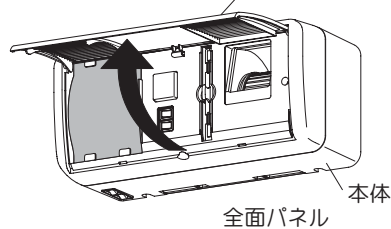
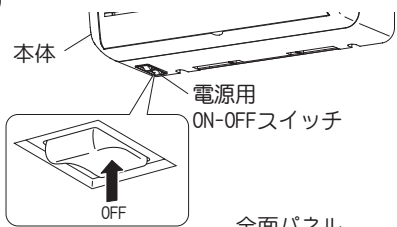
- 1) 本体(上)の中央部にはめてある排気フィルターを外します。

4. フィルターの掃除または交換

- 1) 清掃：掃除機でホコリを吸い取ります。
 - ・汚れがひどいときは、水かぬるま湯に中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、水などで洗剤を洗い流してから、十分に自然乾燥させます。(火にあぶることはしないでください。)
- 2) 交換：5～6回のお手入れ(水洗い)を目安に別売の空気清浄フィルターと交換する。(廃棄方法は、お住まいの市町村窓口処理方法をご確認のうえ処理してください。)

5. 取り付けかた

- 1) はずし方の逆の手順で取り付ける。



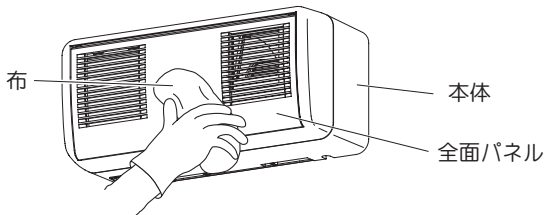
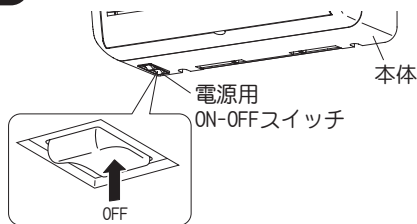
本体・全面パネルのお手入れ (3ヶ月に1回程度)

1. 電源を切る

- 1) 電源用ON-OFFスイッチを「OFF」にする。

2. 本体・全面パネルの清掃

- 1) 本体・全面パネルが汚れてきたら、中性洗剤を入れたぬるま湯に浸した布を固くしぼって拭く。
- 2) 洗剤が残らないようにきれいな布で拭き取る。



交換用フィルター別売部品

品名：換気用フィルター

型式：TFF-HF1 入り数：6枚

お願い

お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しない
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー缶のもの、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤
(変質・変色する原因になります。)

お手入れのしかた

警告



お手入れの際は、必ず電源ブレーカーを切るか、電源スイッチを切る
通電状態では、感電やけがの恐れがあります。



電源スイッチをぬれ手で切/入しない
感電の恐れがあります。



水につけたり、水や洗剤をかけたりしない
(モーター、スイッチなどの電気部品)
ショートや感電の恐れがあります



運転中は羽根の中に指や物を入れない
ファンが回転しており、けがの原因になります。

注意



お手入れの際は、手袋などで手を保護してから行う。
けがをする恐れがあります。



給気フィルターの水洗いは、絶対におこなわない
フィルターに付着している成分が落ちて、性能が十分に発揮できなくなります。

お願い

- 高いところでの作業となりますので足場には十分お気をつけください。
- お手入れの後、熱による乾燥はしないでください。
- 台所用中性洗剤をお使いください。

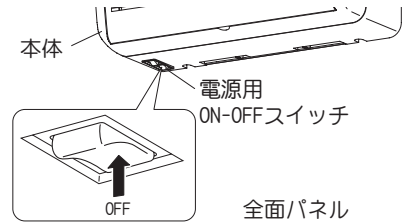
給気フィルターのお手入れ (3ヶ月に1回程度)

1. 電源を切る

電源用ON-OFFスイッチを「OFF」にする。

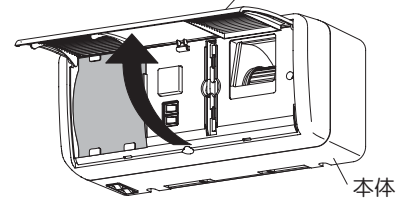
2. 全面パネルのあけかた

- 1) 全面パネル下部に指をかけ上側に開く。
 - ・全面パネルは開いた状態で仮固定できます。
 - ・全面パネルは無理な力で上に押さないでください。(全面パネル、本体(上)が破損します。)



3. 給気フィルターのはずしかた

- 1) 本体(上)の中央部にはめてある給気フィルター枠を手前に引き、外します。
- 2) フィルター枠からフィルターを外す。
- 3) ツメの部分を外し、フィルターを取り出す。

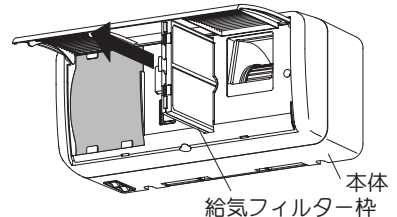


4. フィルターの掃除または交換

- 1) 清掃：掃除機でホコリを吸い取ります。

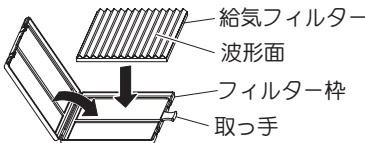
注意：水洗いは絶対におこなわないでください。
フィルターに付着している成分が落ちて、性能が十分に発揮できなくなります。

- 2) 交換：1年(3～4回くらいのお手入れ)を目安に別売の空気清浄フィルターと交換する。
(廃棄方法は、お住まいの市町村窓口にて処理方法をご確認のうえ処理してください。)

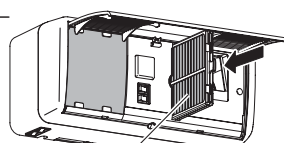


5. 取り付けかた

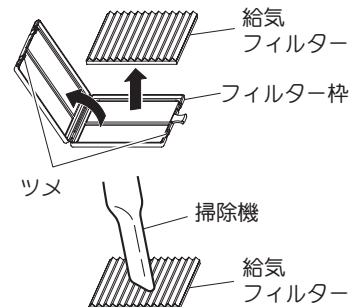
- 1) はずし方の逆の手順で取り付ける。



フィルターの波形を上にして
フィルター枠にセットする。



波形の方を左側にして
本体内に収める



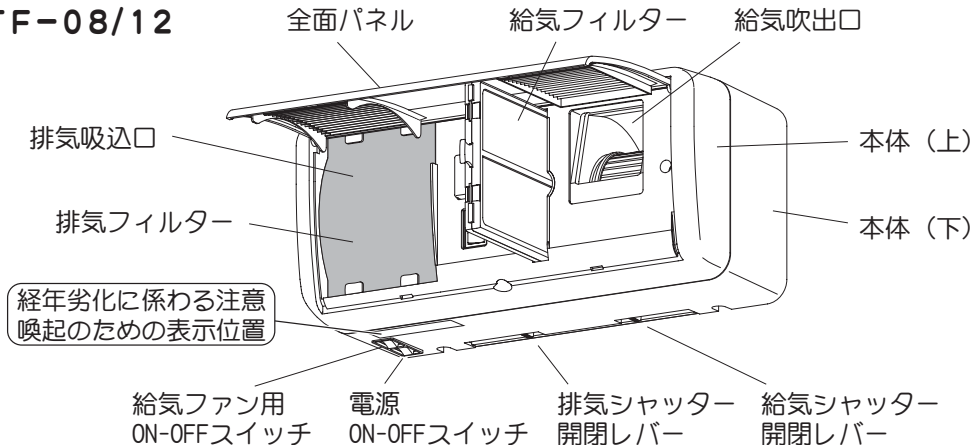
交換用フィルター別売部品

注) フィルター枠は付属していません

品名	換気側フィルター	換気用フィルター	型式：TTF-HF1	入り数：6枚
	給気側フィルター	高性能除菌フィルター	型式：TTF-KF1	入り数：6枚

各部のなまえ

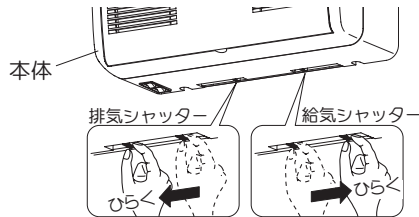
TTF-08/12



運転のしかた

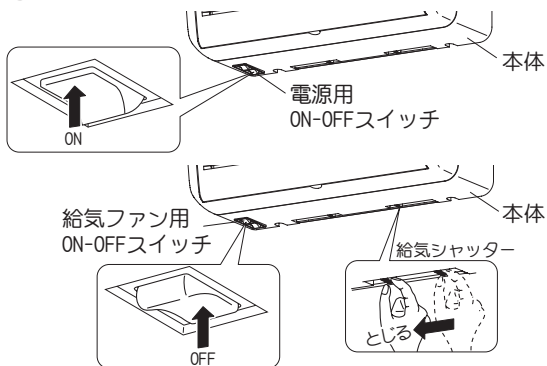
1. 運転する

- 1) 給気・排気シャッターを「ひらく」の位置にする。
- 2) 電源ON/OFFスイッチと給気ON/OFFスイッチを「ON」にする。



2. 停止する

- 1) 電源ON/OFFスイッチと給気ON/OFFスイッチを「OFF」にし、給気・排気シャッターを「とじる」の位置にする。



お願い

- この製品は24時間換気用です。電源スイッチはメンテナンス等以外は常に「ON」にしてください。
- 停止する場合は、給気・排気シャッターを「とじる」に位置にしてください。
(虫侵入、結露の原因になります。)
- 建築基準法に定められた機械換気設備としてご使用の場合は運転を止めないでください。
長時間停止した場合、屋内環境が悪化し法律で定める基準をこえることがあります。

外気の侵入が気になるとき

- 冬期に冷風感が気になるときは、給気用スイッチを「OFF」にし、給気用ファンを停止することにより冷風感が軽減されます。
(このときは自然給気になります。)
- 給気用ファンを停止してもまだ冷風感がある場合は、給気用シャッターを「とじる」の位置にしてください。
- 8畳/12畳用でご使用の場合、全面パネルを開け風量切替スイッチを8畳は6畳側に、12畳は10畳側にすれば風量が弱くなり冷風感が軽減されます。(6畳/10畳でご使用の場合は不可、右図参照)

TTF-08の場合 TTF-12の場合

風量切替スイッチ 風量切替スイッチ



必ず部屋の大きさに合わせて設定・給気ともセットしてください。(0.5回/時)

お願い

- 雨風の激しいときは、一時的に運転を停止してください。
- シャッターを開けたときは電源・給気スイッチを「ON」にし、シャッターを閉じたときは電源・給気スイッチを「OFF」にしてください。
- 外気温が低いときや室内温度が高いときは、本体の表面や内部に結露が発生することがありますので、布などで拭き取ってください。(結露が多量に発生する場合は室内の湿気の発生を抑えて湿度を下げてください。)

⚠ 注 意


<p>❗ フロントパネルなどの部品は確実に取り付ける 落下により、けがをする恐れがあります。</p>	<p>❗ お手入れの際は、手袋などで手を保護してから行う。 けがをする恐れがあります。</p>
<p>❗ 本体は、しっかり取り付けてあるか、確認する 落下により、けがをする恐れがあります。</p>	<p>❗ 長期間ご使用しない場合は、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>
<p>⊘ 風が直接あたるところに燃焼機器を置かない。 不完全燃焼による事故の原因になります。</p>	<p>⊘ 浴室など湿気の多いところでは使わない。 火災・感電の恐れがあります。</p>


お 願 い

- この製品は、お部屋の汚れた空気を排出（排気）するとともに、外気をきれいにして室内に取り入れ（給気）ます。
また、24時間換気用のため、異常時メンテナンス時等以外は電源スイッチを「ON」にし、連続運転でご使用ください。
- 高温（40℃以上）になる場所で使わないでください。
製品の变形やモーターの寿命を縮める原因になります。
- 冬季など外気温度が約-5℃より低下した場合「室外温度-5℃以下、室内温度20℃、室内相対湿度50%以上」には、室内空気中の水分が結露や凍結して製品本体（吹出口周辺、フィルター枠など）から水が滴下する場合があります。水の滴下をできるだけ防止するために、外気温度が低い場合は、給気シャッターを閉じ、給気用スイッチを「OFF」にしてご使用ください。
結露や凍結については、種々の微妙な条件（室内の湿気、空気の流れ等）により発生状態が異なります。）
結露した場合は必ず分電盤のブレーカーを切ってから水を拭き取ってください。
- 霧の多い時期（霧雨や濃霧が長く続くとき）は一時的に給気用スイッチを「OFF」にし、給気シャッターも閉じてください。
- 外風が強いときはシャッターを閉める。
台風など外の風が強いときは、排気、給気シャッターを閉めて電源スイッチを「OFF」にし、運転を停止してください。
（シャッターを閉めずに運転を停止すると、虫の侵入、結露の原因になります。）
- 給気ON/OFFスイッチを「OFF」にすると、自然給気になります。



安全上のご注意



- ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みになり、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人々への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しております。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しております。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示（例）で区分し説明しています。


  記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。


  記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。


  記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。


警 告


 **ガス漏れの際は換気扇のスイッチを切/入しない**
スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。


 **取り付けは、お買い上げの工事店または専門業者に依頼し確実にこなう。**
ご自分で取付工事をされ不備があると感電や火災・落下の原因になります。


 **修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理はおこなわない。**
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

 **水につけたり、水や洗剤をかけたりしない**
(モーター、スイッチなどの電気部品)
ショートや感電の恐れがあります

 **お手入れの際は、必ず電源ブレーカーを切るか、電源スイッチを切る**
通電状態では、感電やけがの恐れがあります。

 **運転中に本体から異常や異臭が感じられたら、使用を中止し電源ブレーカーを切ってください。**
異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になることがあります。

 **電源スイッチをぬれ手で切/入しない**
感電の恐れがあります。

 **運転中は羽根の中に指や物を入れない**
ファンが回転しており、けがの原因になります。